

【巻頭言】

第一印象

北翔大学 生涯スポーツ学部
講師 坂谷 充

「人の生活領域と自然が近い“国”」
これが北海道の最初の印象である。

雪が降らない土地で生まれ育ちましたが、親の影響で幼少の頃よりスキーに親しみ、いつの頃からか雪に対する憧憬を抱いてきました。そんな私の「憧れの地」そして「アウトドアスポーツの聖地」である北海道。この春から縁あって北海道での生活がスタートしました。今回は、そんな「よそ者」の私から見た北海道について、厚かましいかもしれませんが書かせていただきます。

まず初めに感じたのが、人と自然との距離が近いことです。もちろん趣味でアウトドアスポーツをする人が多いということもありますが、もっと多くの意味を込めて「距離が近い」という表現を使いたいと思います。札幌市では林間学校をはじめ、札幌市青少年山の家での宿泊学習、また北海道では学校独自に様々な自然体験活動を実施していると聞きます。また森の幼稚園や、それに近い自然保育を実践しているという幼稚園・保育園なども多数見受けられます。この夏には札幌市林間学校をお手伝いさせていただきました。札幌市野外活動教育研究会という組織をはじめ、こんなにも大きな規模、多くの参加人数で林間学校を実施しているのは全国を見ても北海道だけではないでしょうか。

さて、そんな北海道について私は何度か「もったいない」と思うことがありました。例えば「優秀な人材が関東などに流れないように・・・」といった文言です。第三者の私からすると（アウトドア大好きという偏見含）、うまい仕組みを作れば「むしろ優秀な人材が集まるのではないか？」と考えています。本州から移住する人もいるくらいポテンシャルの高い北海道。情報通信網の発達によりテレワークもできます。「北海道のポテンシャルをもっと有効利用できないか？」と考えています。もちろん私のような新参者にはまだ分からない課題や問題点などもあると思いますが、私たちが先頭に立って、北海道の自然を生かしたそんな行動を起こせたら素敵だなと思います。



また、最近必要性を感じていることは、北海道の歴史や文化を学ぶことです。言葉については理解に苦しむといった場面はほとんどありませんが、地名の難しさには驚きを隠せませんでした。その土地や人を理解するためには歴史を知る必要があります。北海道について学びたいと思います。

そして最後に、私が今一番心配していることをお伝えしたいと思います。それは厳しい冬をいかにして過ごすのか？ということです。北海道の初めての冬、頑張って越冬したいと思います。最後になりましたが、北海道キャンプ協会のみならず、今後もよろしくお願いいたします。



事業報告

キャンプインストラクター養成講習会を実施しました

10月25日（金）から2泊3日の日程で、青少年山の家（札幌市南区）を会場に「キャンプインストラクター養成講習会」が行われました。受講生は11名で、札幌近郊を中心に遠方から参加された方もいました。

主に3グループに分かれ、グループダイナミクスを活用した展開ですすめられました。フィールドでのパッケージド・プログラムの体験や、テント設営、野外炊事など終始リラックスした雰囲気ですすみ、座学では大切なポイントを皆で確認し、コンセンサスを取りながら行われました。

そして、試験では全員が合格し11名のキャンプインストラクターが誕生しました。

今年は、野外に関わる仕事をしている方、趣味としてキャンプを実践している方などバラエティーに富んだ立場の方に参加いただきました。この講習会は、キャンプの知識や技術を知ることはもちろんですが、同じ志を持つ仲間との出会いや、今後の繋がりを得ることができるのも大きな魅力です。この繋がりがどう発展していくか楽しみです。

今回お世話になりました、山の家の皆様、講師・運営スタッフの皆様、ご協力ありがとうございました。（この講習会の運営は会員のボランティアで行われています）そして、新たにインストラクターとして北海道キャンプ協会の一員になられた11名の皆様、これからもよろしくお願いします。一緒に北海道の活動を盛り上げましょう。



公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 山田 啓貴（ディレクター1級）



北海道キャンプフェスタ2019を実施しました

実施日：2019年10月5日（土）13時～16時
会場：定山溪自然の村
天気：曇り
参加延べ人数：353名
協力スタッフ：16名



今年度で4回目の開催の北海道キャンプフェスタ。

今年度のテーマは「気軽にキャンプの楽しい！面白い！が体験できるイベント」。
北海道キャンプフェスタは北海道キャンプ協会の若手が中心となって企画・運営しました。「北海道キャンプ協会のことを広く知ってもらうための広報活動」と「一般の人にキャンプの楽しさを知ってもらい、キャンプの活動の幅を広げられるよう応援する啓発活動」として実施しました。キャンプ協会所属のスタッフとボランティアスタッフあわせて16名のスタッフが集まり、キャンプフェスタに参加した大人や子どもたちに様々な体験・展示コーナーを提供して、「キャンプって楽しい！面白い！」と実感してもらうことができました。

参加者の声

- ・昨年のキャンプフェスタが楽しかったので、今年も来ちゃいました。今年も楽しかったです。来年も来ようかな・・・。
- ・子どもでも安全で簡単に薪を割ることができる機械がすごい！ほしい！
- ・自分で火をおこすことができたのは初めてです。感動しました！！でも疲れたー！
（→お父さんが頑張る姿を子どもに見せたら、子どもは自分もお父さんみたいに火をおこすんだ！と頑張っていました）
- ・焚き火って良いですね。自分のテント前でもマシュマロ焼こうと。



【共催】

北海道キャンプ協会
札幌市定山溪自然の村

【協力団体】

- 公益財団法人 北海道YMCA
- NPO法人 自然教育促進会
- NPO法人 ネイチャープログラムデザイン
- NPO法人 こども共育サポートセンター

【体験コーナー】

- 色々な火おこし体験
- 魚釣り体験
- 薪割り機体験
- たき火でおやつ焼き体験
- ホットドリンクコーナー

【展示コーナー】

- 北海道キャンプ協会紹介
- アウトドア写真展

教員免許状更新講習 開催のお知らせ(予定)

2019度より公益社団法人日本キャンプ協会主催の標記講習会がスタートしました。日本キャンプ協会は1966年にキャンプの普及と振興を目的に設立され、以来、半世紀にわたり、延べ14万人のキャンプ指導者を輩出してきました。講習会では長年培ってきた指導者養成のノウハウを生かした、学級活動に活かせる自然体験活動の理論と実践などを予定しています。2年目となる2020年度は、1年目の経験を生かし、さらに充実した内容を計画しています。

●日時：2020年8月16日（日）～8月18日（火）

●会場：札幌市滝野自然学園（札幌市南区滝野106番地）

●協力：北海道キャンプ協会

※詳細は日本キャンプ協会HP（<http://www.camping.or.jp>）、または文部科学省の教員免許状更新講習のWEBサイトでご確認ください。

メンバー募集！

北海道キャンプ協会には、次世代若手指導者団体である「えぞっぷ」という組織があります。「えぞっぷ」では様々な活動を計画し、北海道におけるキャンプ活動の推進を図っています。若手ならではのエネルギーあふれる企画や新たな視点での活動が実施されています。ぜひ皆さんも「えぞっぷ」に入り一緒に活動しませんか？興味のある方は北海道キャンプ協会事務局までご一報下さい。

【活動実績】

北海道キャンプフェスタ、指導者交流会、日本キャンプミーティングでの発表、活動報告会など

事務局移転のお知らせ

北海道キャンプ協会では2009年11月1日より事務局を小樽市内のNPO法人自然教育促進会内に置いてきましたが、この度、札幌市郊外のNPO法人ネイチャープログラムデザイン内へ移転いたしました。

つきましては、年度途中ではありますが事務局業務は2019年11月1日より新事務局で行います。問い合わせなどは下記までお願いいたします。

新事務局

住所：〒005-0862 札幌市南区滝野106番地

NPO法人ネイチャープログラムデザイン内 北海道キャンプ協会

電話&FAX：011-596-9170

Email：Hokkaido@camping.or.jp

ホームページは従来通り<https://www.hokkaidocamp.com>です。なお、事務局変更に伴い役員、事務局員に変更があります。詳しくはHPでご確認ください。

北海道キャンプ協会

〒005-0862

北海道札幌市南区滝野106番地

NPO法人ネイチャープログラムデザイン内

TEL&FAX 011-596-9170

メール hokkaido@camping.or.jp

URL <https://www.hokkaidocamp.com/wp/>

